



## 信用金庫の店舗内店舗の実施動向

とね かずゆき  
刀禰 和之

### ポイント

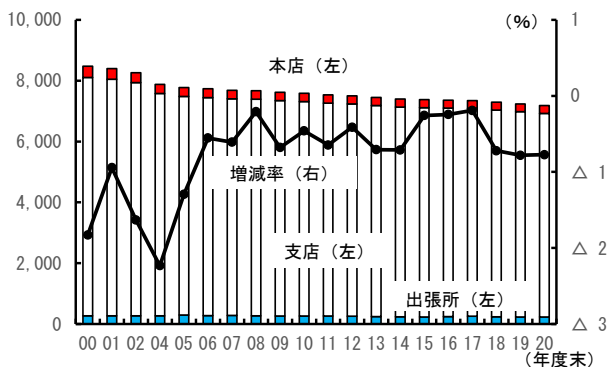
- 2020年度末の信用金庫の店舗数は、前期比56店舗減少の7,181店舗となり、22年連続で前期を下回った。
- 3年後の店舗数を「減少する」と予想する信用金庫が41.1%あり（当研究所調べ。以下同じ）、今後も店舗数の減少は続くと予想される。
- 2020年度を通じて店舗内店舗を実施した信用金庫は25金庫41店舗となり、2021年度についても7月現在で22金庫33店舗の実施計画（実施済みを含む）がある。
- 店舗内店舗を実施する際の課題は、「顧客が店舗統廃合と混同」「仕組みが理解されない」などであり、特に地域で初めて同施策を実施する信用金庫においては丁寧な顧客説明が求められる。

### 1. 信用金庫の店舗数の推移

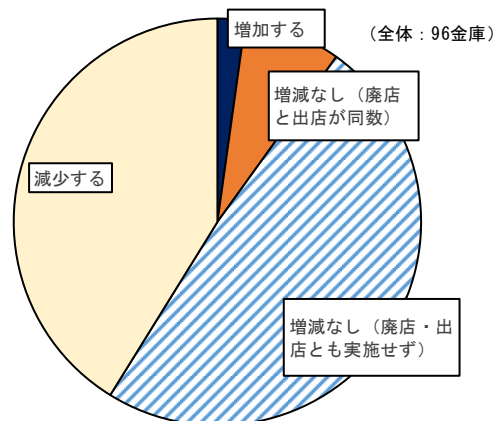
2020年度末の信用金庫の店舗数は、前期比0.7%、56店舗減少の7,181店舗となり、22年連続で前期を下回った（図表1）。2000年度末の店舗数と比較すると、15.3%、1,299店舗の減少となる。

実際、信金中央金庫 地域・中小企業研究所が2020年度に実施した研修受講金庫（96金庫）の3年後の店舗予想は、「増減なし」が56.5%ある一方で、「減少する」を選択した信用金庫も41.1%あった<sup>注1</sup>（図表2）。

（図表1）店舗数の推移



（図表2）3年後の店舗予想



### 2. 3年後の店舗予想

今後については、人口の高齢化・減少に伴う市場環境の急激な変化や超低金利政策に伴う収益力の低下に加えて、デジタル・トランスフォーメーション（DX）の進展などから、店舗数の減少傾向が続くと予想される。

（備考）2020年11月調べ（対象は96金庫）

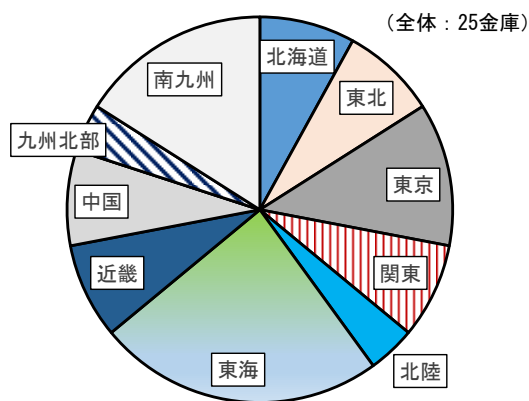
### 3. 店舗内店舗の実施状況

近年、店舗効率化の一手法として店舗内店舗を実施する信用金庫が増えている。店舗内店舗は顧客口座の移管が不要なことなどから、店舗

統廃合に代わる店舗効率化策として導入金庫が広がりつつある<sup>注2</sup>。

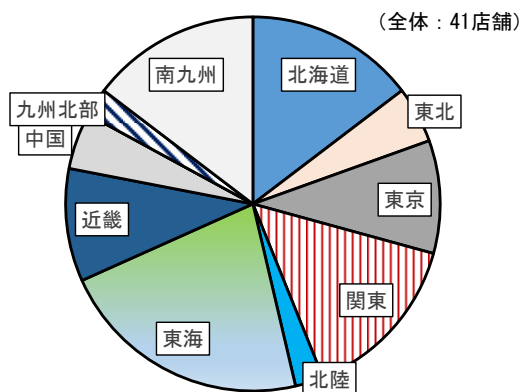
当研究所が信用金庫のHP（お知らせ、新着情報、ニュースリリースなど）で確認した2020年度中の店舗内店舗の実施状況は、25金庫41店舗であった<sup>注3</sup>。地区別の実施金庫数は、東海が6金庫、南九州が4金庫、東京が3金庫などとなり、四国では確認できなかった（図表3）。また地区別の実施店舗数をみると、東海の9店舗が多く、北海道、関東、南九州の各6店舗が続いた。

（図表3）2020年度の実施金庫数



（備考）図表3から5まで当研究所調べ

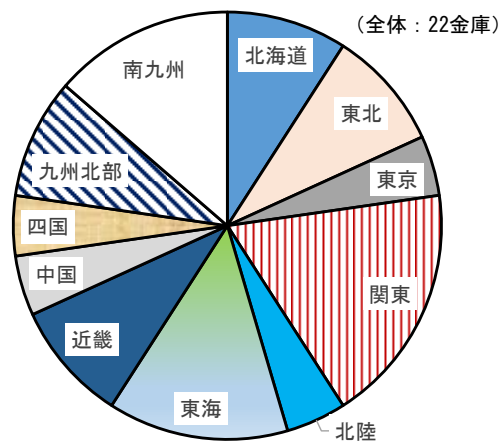
（図表4）2020年度の実施店舗数



次に2021年度における店舗内店舗の実施計画（実施済みを含む）を同様の方法で確認すると、2021年7月時点で22金庫33店舗となった（図表5）。地区別では関東4金庫、東海3金庫、南九州3金庫などで実施計画がある。

下期以降の実施に向け、8月以降も実施計画を公表する信用金庫がみられる。そのため、2021年度を通じて前年度並みの店舗内店舗の実施金庫数・店舗数が予想される。

（図表5）2021年度の実施計画（金庫）



#### 4. 店舗内店舗実施時の検討課題

前述の研修受講金庫に店舗内店舗を実施する際のデメリットを尋ねたところ、「顧客が店舗統廃合と混同」が38.8%、「仕組みが理解されない」が30.0%などとなった。別途、「（そもそも）店舗内店舗を実施せず」の回答金庫も32.2%あった。

地域銀行や信用金庫で店舗内店舗の導入が進むものの、地域によっては店舗統廃合と店舗内店舗の違いを十分に理解できていない顧客が存在する。そのため、特に地域で初めて同施策を実施する信用金庫においては丁寧な顧客説明が求められよう。

以上

注1 経営戦略プランニング研修「店舗体制改革」（第5回）

注2 店舗内店舗は店舗統廃合ではなく、複数店舗が同一店舗内で営業する仕組みであり、手続き面では位置変更に該当する。そのため、ディスクロージャー誌等の店舗数は減少しない。

注3 店舗建替えや新規出店のための一時的な店舗内店舗の実施事例を除いて集計した。